

ゼンショーグループは
地の果て 海の果つるところまで
MMDシステムをつくれます。

誰もが自分自身の視野の限界を、
世界の限界だと思い込んでいる。

ショーペンハウアー

島根県 山陰本線を走る列車と日本海

2023年3月期 第2四半期

中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日

ZÉNSHO

株式会社 ゼンショーホールディングス

目次

トップメッセージ	… 1
財務ハイライト	… 2
セグメント別ハイライト	… 3
セグメント別の概況	… 4
トピックス	… 5・6



株式会社ゼンショーホールディングス
代表取締役会長兼社長

小沢 賢太郎

(ご参考)

2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
7,455億49百万円 前年同期比 13.2%増	250億円 前年同期比 170.8%増	246億73百万円 前年同期比 6.7%増	140億27百万円 前年同期比 1.1%増	92円21銭

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

2023年3月期の上期(2022年4月1日から2022年9月30日)は、国内では新型コロナウイルス感染症の行動制限が緩和され、経済活動が本格的に再開されたことから、外食事業での売上高が回復基調となりました。一方、海外事業においては、ゼロコロナ政策により中国の一部でロックダウンが続いているものの、その他の国や地域では改善の兆しが見えてきました。

下期は、不安定な国際情勢から、世界的な原材料及びエネルギー価格の高騰、急激な為替変動により、なお厳しい経営状況が続いています。弊社はさらなる業績向上に向けて、さまざまな営業施策を推進してまいります。外食・小売の各業態では魅力的な商品の開発に力を注ぎ、さらにブラッシュアップした「食べておいしい」「見て楽しい」のバラエティ豊かな魅力ある商品をご提供し続けてまいります。

こうした事業の原動力がゼンショー独自のマス・マーチャндаイジング・システムです。原材料を世界中から安定して調達し、安全で品質の良い、おいしい商品を提供し続けられる仕組みを全地球規模で確立できるよう努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、世界から飢餓と貧困を撲滅する理念をとともに実現するパートナーとして、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

売上高

3,757億 24百万円

前年同期比 18.5%増



営業利益

81億 50百万円

前年同期比 5.6%減



経常利益

137億 20百万円

前年同期比 5.0%増



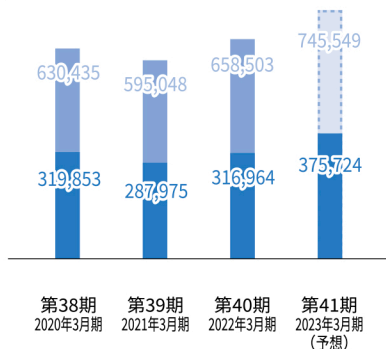
親会社株主に帰属する四半期純利益

73億 58百万円

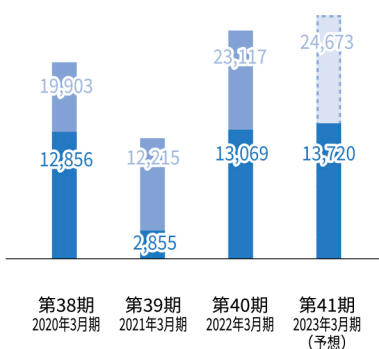
前年同期比 14.4%増



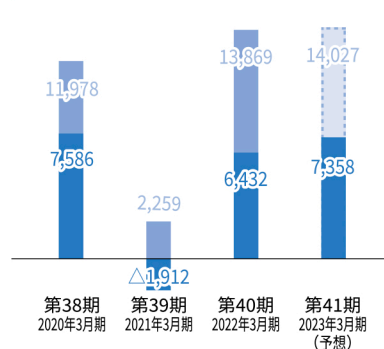
売上高 (単位：百万円)



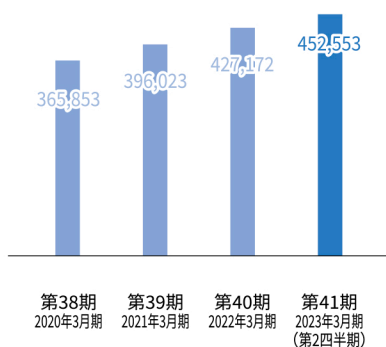
経常利益 (単位：百万円)



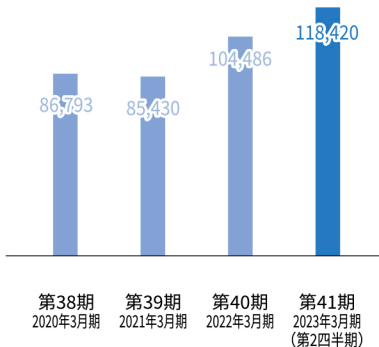
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)



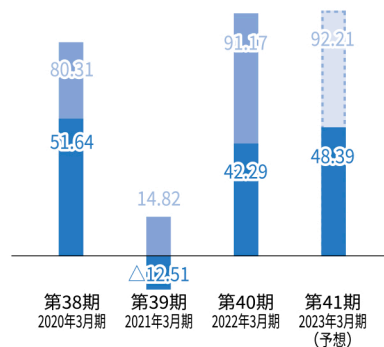
総資産 (単位：百万円)



純資産 (単位：百万円)



1株当たり当期純利益 (単位：円)



※配当につきましては当初予想通り、中間配当 1株当たり 12円、
期末配当 1株当たり 12円とし、年間では 24円を予定しております。

通期 第2四半期

外食事業

外食事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、3,371億66百万円(前年同期比21.8%増)、営業利益は95億91百万円(同11.2%増)となりました。

牛丼カテゴリー

牛丼カテゴリーの当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,267億34百万円(前年同期比10.9%増)となりました。

牛丼チェーンの「すき家」は、「スパイシートマチ牛丼(並盛650円)」、「ニンニクの芽牛丼(同550円)」、「すきやき牛丼(同580円)」等の新商品や季節商品を積極的に導入いたしました。

丼ぶり・京風うどんの「なか卯」は、既存商品のブラッシュアップによる強化などを積極的に行っております。

当カテゴリーの当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、41店舗出店、27店舗退店した結果、3,092店舗(FC7店舗含む)となりました。

レストランカテゴリー

レストランカテゴリーの当第2四半期連結累計期間の売上高は、548億71百万円(前年同期比32.7%増)となりました。

ファミリーレストランの「ココス」は、フェアメニューの積極的な導入による商品の強化、専門店にも負けない本格的な味の追求、お客様が満足してお食事をしていただけるようサービス水準の向上を図り、業績の向上に努めてまいりました。

パスタ専門店の「ジョリーパスタ」は、「おいしさと楽しさを追求するパスタ専門店」として、おいしい旬の食材を活かしたパスタの新商品投入や手作りピッツァ、サラダ、前菜などパスタ以外の商品拡充を行ってまいりました。

そのほか、ハンバーグ&ステーキレストランの「ビッグボーイ」や、厳選された牛肉を提供する焼肉チェーン店の「熟成焼肉いちばん」、和食レストランの「華屋与兵衛」、本格イタリア料理専門店の「オリーブの丘」等が当カテゴリーに含まれております。

当カテゴリーの当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、11店舗出店、21店舗退店した結果、1,214店舗(FC79店舗含む)となりました。

ファストフードカテゴリー

ファストフードカテゴリーの当第2四半期連結累計期間の売上高は、914億5百万円(前年同期比30.5%増)となりました。

100円寿司チェーンの「はま寿司」は、積極的なフェアメニューの導入や商品クオリティの強化と生産性の向上に努めてまいりました。

そのほか、武蔵野うどん・天ぷらを提供する「久兵衛屋」やマレーシアを中心に展開し、ハラル認証を取得したチキンライス専門店の「The Chicken Rice Shop」等が当カテゴリーに含まれております。

当カテゴリーの当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、21店舗出店、6店舗退店した結果、984店舗(FC1店舗含む)となりました。

その他カテゴリー

その他カテゴリーの当第2四半期連結累計期間の売上高は、641億54百万円(前年同期比25.3%増)となりました。

Advanced Fresh Concepts Corp.は、米国・カナダ・オーストラリアで寿司のテイクアウト店を展開しております。

そのほかの当カテゴリーの主要業態は、家庭用冷凍食品販売の株式会社トロナジャパン、グループの物流機能を担う株式会社グローバルフレッシュサプライ、備品・ユニフォーム等を調達する株式会社グローバルテーブルサプライ等であります。

当カテゴリーの当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、129店舗出店、75店舗退店した結果、4,731店舗(FC4,454店舗含む)となりました。

小売事業

小売事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、385億58百万円(前年同期比3.9%減)、営業損失は14億42百万円(前年同期は営業利益9百万円)となりました。売上高が計画対比で伸び悩んだことやエネルギーコスト・配送費等の増加によるものです。

当事業の内訳は、スーパーマーケット事業を展開する株式会社ジョイマート及び青果販売等の株式会社ユナイテッドベジーズ等であります。

当事業の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、1店舗出店した結果、130店舗となりました。

セグメント別売上高構成比

当社グループの代表的な子会社及び業態のロゴマークを記載しております。

■ 小売事業

385億 58百万円

(グループ売上シェア 10.3%)

■ 主なブランド



■ その他カテゴリー

641億 54百万円

(グループ売上シェア 17.1%)

■ 主なブランド

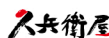


■ ファストフードカテゴリー

914億 5百万円

(グループ売上シェア 24.3%)

■ 主なブランド



■ 主なブランド



■ 外食事業

3,371億 66百万円

(グループ売上シェア 89.7%)

■ 牛丼カテゴリー

1,267億 34百万円

(グループ売上シェア 33.7%)

■ 主なブランド



■ レストランカテゴリー

548億 71百万円

(グループ売上シェア 14.6%)

連結売上高
3,757億24百万円

TOPICS
1ZENSHO FAIR TRADE —ルワンダ共和国—
家庭科授業の取り組み拡大
合同発表会に参加

2022年6月、ルワンダで家庭科授業の取り組みを行っている小学校の合同発表会に参加しました。この取り組みは、コーヒー豆1次加工場近くの学校に社会開発資金※が活用された家庭科教室が完成した2017年に始まりました。今回、家庭科授業を導入した7校から子どもたちが集まり、生き生きと発表するその姿から、裁縫や野菜作りなどの授業がチーム性と社会性をはぐくんでいる様子がうかがえました。授業で学んだ裁縫を生かし、自分で縫い上げた服を着て発表する生徒も。子どもたちの生活の豊さにも貢献しています。

※社会開発資金…原料買取価格の中で現地の人々が必要とする様々な生活改善活動に充てられる金額のこと。



校庭にて子どもたちの笑顔に包まれる



家庭科教室の外観



裁縫キットを配布



衣服製作のために採寸する生徒



合同発表会で成果を発表



校内の菜園で収穫された作物

TOPICS 2

すき家 神宮外苑花火大会に 3年ぶりに参加

2022年8月20日、神宮外苑花火大会が3年ぶりに開催され、すき家のキッチンカーが出店しました。この花火大会は、2011年から東日本大震災復興支援、2016年からは東日本大震災・熊本地震復興支援チャリティーとして開催されており、収益の一部は義捐金として被災地へ届けられています。すき家はこの活動に賛同し、チャリティー開催当初から参加。店舗では販売していないこの日限りの特別メニューも提供し、おいしい食と元気な接客で花火大会を盛り上げました。



すきパオ



ジャパン海苔牛丼



ミックスベリー
レモネード



すき家ブースにお客様が並んでいる様子



魚の切りつけを体験

試食の様子

労働組合「ZEAN (ゼアン)」の提案で、はま寿司と水産高校によるコラボレーションが実現しました。

ゼンショーには、原材料の調達から製造・加工、物流、店舗での販売消費までを、一貫して企画・設計、運営する、マス・マーチャンダイジング・システム (MMD) という独自の仕



TOPICS 3

焼津水産高校で 養殖された魚を はま寿司焼津店で販売

組みがあります。この流れを水産高校の生徒に体験してもらうため、2022年6月、生徒が養殖したとらふぐやヒラメをはま寿司焼津店で提供する試みを実施。生徒は魚が店舗へ納入されるまでの過程を見学し、店舗では魚の切りつけや寿司造りを体験。お客様が商品を注文して召し上がる様子まで見ていただきました。水産高校の生徒からは「生産者としてお客様の反応を直接見ることができる貴重な経験だった」と感謝の言葉が寄せられています。



参加した生徒一同で記念撮影

株主優待制度

当社では皆様の日頃のご厚情に感謝し、100株以上保有の株主の方に、当社グループ店舗でお使いいただける「株主様お食事ご優待券」をお届けしています。



100株以上300株未満 1,000円分（500円券×2枚）

300株以上500株未満 3,000円分（500円券×6枚）

500株以上1,000株未満 6,000円分（500円券×12枚）

1,000株以上5,000株未満 12,000円分（500円券×24枚）

5,000株以上 30,000円分（500円券×60枚）

ご優待券をご利用いただけるお店



代替品について

300株以上保有の株主様は、代替品交換制度をご利用いただけます。（代替品の一例）



定められた期限内に未使用で最新の株主優待券（3,000円分）をご返送いただくと、ゼンショーグループのオリジナル商品との交換が可能です。

※詳細は株主優待券同封の「株主様お食事ご優待券のご案内」をご覧ください。



ゼンショーグループ公式通販ショップのご紹介

ゼンショーグループの商品はこちらの公式通販サイトからご購入いただけます。



ZENSHO
net store
ゼンショーネットストア



ゼンショーサポーターズクラブ[ZSC] 会員募集中!!

資本と経営は「車の両輪」という当社の理念に共感いただいた株主の皆様と、まさに両輪としての関係を築くために設立されたゼンショーグループの応援団体です。

ゼンショーグループを共に育て、企業価値を高めることを目的としています。

ZSC会員特典

- ①「会員情報紙」の送付
- ②グループ店舗で使える「特別お試し券」(割引券)の送付
- ③ ZSC オリジナル商品の特別販売 (通販)

※詳細は「サポーターズクラブ入会案内申込みハガキ」をご覧ください。

〈お問合せ〉

ZSC事務局 TEL:0120-959-309 9:00~17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
合同会社 日本クリエイト	52,307	34.38
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社 (信託口)	10,825	7.11
小川 賢太郎	3,170	2.08
小川 一政	3,160	2.07
小川 洋平	3,160	2.07
ゼンショーグループ社員持株会	2,876	1.89
株式会社 日本カストディ銀行 (信託口)	2,135	1.40
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	1,105	0.72
清水 信次	1,027	0.67
アサヒビール株式会社	627	0.41

1. 持株比率は自己株式(2,744,536株)を控除して計算しております。
2. 上記小川洋平氏の所有株式数には、2022年2月20日付で締結した管理信託契約に伴い、(株)SMBC信託銀行が保有している株式数(2022年9月30日現在3,150,000株)を含めて表記しております。

株主メモ

- 事業年度 : 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
配当金受領株主確定日 : 3月31日及び9月30日
定時株主総会 : 毎年6月開催
基準日 : 3月31日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して一定の日を定めます。
- 株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関
郵便物送付先 : 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 電話照会先 : 0120-782-031 (フリーダイヤル)
受付時間: 9:00~17:00 (土日祝日、年末年始を除く)
- 単元株式数 : 100株
公告方法 : 原則として当社ホームページにて行います。電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。